

あとがき

改めて書き記せば、私たちは日本伝書鳩協会に所属し鳩のレースを楽しんでいる。その協会本部は東京にあり、日本全国に協会員がいてレースを楽しみ、多くの愛鳩情報を共有できている。昭和29年3月に設立され、平成26年12月一般社団法人日本伝書鳩協会として登記され現在にある。この経過は、「協会70周年のあゆみ」に詳しい。時代に生きた幾多の人々がこの協会存続・運営に汗を流されたことだろう。どんな組織もそうではあるが、そういう人たちの努力や貢献は表からは見えないものである。現在、この協会の役員として九州南地区支部合同会を代表され、日高一夫氏と永田洋洋氏が、それぞれ常務理事、理事としてご苦勞を願っているわけである。年2回の役員理事会出席も大変であろう。

さて、時代に逆らわず協会にもホームページがあり、ご存知のようにデジタルデータにて瞬時に全国の協会員鳩情報が伺い知れる。インターネット環境さえ整っていれば便利だ。この協会HPに関し、上記両氏から相談というか、打診があった。「協会の役員会で新しいHP制作の意向があった」とのことで、宮崎の方でそれを作れないかとのお話だった。早い話、私の方でこの新しいイメージに刷新された日本伝書鳩協会 新HPが作れないかとの相談であった。突然のお話でもあり、私も老後の楽しみで会員として入会させて頂き愛鳩を飼育し、レースを楽しんでいる訳で、今更、現役時代の広告・広報制作に携わる事など、とても考えられなかった。だが、しかし、話を聞き進めれば、その世界に詳しい役員関係者がいなく、進めようがないとの事。しかし、東京であれば、あまた幾多のHPデザイナーやHP制作ディレクターが存在するわけで、容易に制作可能だとお伝えした。ところが、そちらに発注した場合、0以下からレース鳩の世界をレクチャーしなければならず、それもままならないとの事。お聞きすればするほど深みに引きずり込まれるような感覚を覚え始めたのだった。

それやこれやで、最終的には、新HP制作の立ち上げを協力することになった。いわゆる、新しいデザインを企画制作し、必要な各ページを構成し、それをネット上に公開する。その後、保守・管理という問題が生じるわけだが、それはまた、別の窓口で対応することでお受けすることになった。現在制作中で、東京の協会事務局と作業を進めている。端末を駆使し、ネットの中でやり取りしながら全国組織の新しいHP制作に埋没している。何やら現役時代に戻ったようでやりきれない。根気も集中力も、体力までもを減退させている現実の中で超悪戦苦闘気味!? **新しいイメージの日本伝書鳩協会 新HP公開はこの9月1日予定である。** いや、ここまで来たら必ず公開させる。

(*新HPは、パソコン、スマホ、タブレットなどからでも視聴可能です。)

2026年8月23日

企画担当 STクラブ 猪股和憲